

信頼できるパートナーとして協力し合い
BCP や気候変動問題に取り組む将来を見据え、
「太陽光発電オンサイトサービス」を導入しました。



株式会社 オークワさま

環境負荷低減の取り組みの一環として太陽光発電システムを活用

株式会社 オークワさま「太陽光発電オンサイトサービス」導入の決め手

1. サービス内容、環境負荷低減効果に納得
2. 「信頼できるパートナー」として協力し合えると確信
3. 関西電力と連携しBCPや気候変動問題も推進

環境への取り組みの一環として太陽光発電システムを導入

当社は事業に邁進するだけでなく、社会的責任を果たすことも重要な責務だと認識しています。環境への配慮もその一つです。さまざまな取り組みと共に太陽光発電システムの導入も積極的に進めてきました。2013年から電力販売を目的に6事業所に設置。2018年、スーパーセンター関店(岐阜県)に初めて自家消費を目的とした太陽光発電システムを導入して以降、奈良県のスーパーセンター田原本インター店や本社に自家消費型の大規模太陽光発電を稼働させてきました。さらなる増設を考えていた時、関西電力さんから提案されたのが「太陽光発電オンサイトサービス」でした。



総務部 部長
兼 環境対策室 室長
坂口 博之さま

契約期間やサービス内容の検討、発電量のシミュレーションで懸念を解消

関西電力さん进行评估した理由は、メリットだけを強調するのではなく、当社の懸念や疑問を丁寧に聴き取り、それを解消する方策を提示してくださったからです。**懸案していた契約期間やサービス内容についても議論を重ね、当社が納得できるスキームを構築**していただきました。また店舗ごとにシミュレーションを行い、見込まれる発電量を明示してくださったことも、安心感につながりました。導入による環境負荷低減の効果と経済的な不安に対する解消策の両方が明確になったことで、経営陣の意向も導入に傾きました。



長期にわたって信頼できるパートナーになれると確信

コストや設備、サービス内容以上に重視したのは、「信頼できるパートナー」になり得るかどうかでした。関西電力さんとは、これまでもさまざまなサービスやソリューションをご提案いただく中で、互いに忌憚なく話し合える関係を築いてきました。「**関西電力さんとなら10年、20年という長期にわたってパートナーとして協力し合える**」。そう確信できたことが、導入の決め手になりました。

大阪府のスーパーセンター和泉納花店で太陽光発電の稼働を開始したのは、2021年2月のことです。今後、想定通りの発電効果をあげることを期待しています。



関西電力とともにBCPや気候変動問題にも取り組みたい

「太陽光発電オンサイトサービス」の導入にあたっては、**短期的な電力使用量削減効果だけでなく、中長期的により大きな可能性**を感じています。その一つが、太陽光発電のBCP(事業継続計画)への活用です。地域住民の方々のライフラインであるスーパーマーケットを経営する当社にとって、非常時の事業継続は極めて重要な課題です。今後、**関西電力さんと連携しながら太陽光発電と蓄電池を活用したBCPへの取り組みに発展させていきたい**と考えています。

もう一つは、サステナブル経営の一環としてRE100*を意識した気候変動問題に取り組んでいくことです。中長期的には太陽光発電による電力供給だけでなくCO₂ゼロの再生可能エネルギーを導入していきたい。そうした将来に向け、関西電力さんと共に踏み出す第一歩になればと考えています。



※ RE100：企業が自らの事業の使用電力を100%再エネルギーで賄うことを目指す国際的なイニシアティブ。世界各国や日本国内でも、特に環境負荷の低減に熱心な企業が参加している。

株式会社 オークワさま

住所／和歌山県和歌山市中島185-3

事業内容／小売業

1959年、和歌山県初のスーパーマーケットを開業。以来、地域の方々の支持を得て近畿一円、さらには中部・東海圏へと拡張し、153店舗(2021年2月21日現在)を展開する大手スーパーに成長した。地域密着企業として、地域の人々のニーズに応えるだけでなく、環境保全の取り組みも積極的に推進。多様な側面から地域の人々の豊かで快適な暮らしに貢献している。



掲載の情報は2021年2月現在のものです。